



つくる、を日常に。



Living with ART.

2022 8.20 (土) — 8.28 (日)

日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真

会場 春日井市役所10、11、12階
文化フォーラム春日井

時間 午前9時～午後4時30分
※初日のみ午前10時開場／最終日は正午まで
※会期中休みなし

主催：春日井市、春日井市教育委員会
後援：中日新聞社
主管・問合せ：公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL.0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

春日井市民美術展覧会

第71回
市民展

目次

特別賞受賞作品

市長賞	2
財団理事長賞	5
教育委員会賞	8
市議会議長賞	11
観光コンベンション協会会長賞	14
委嘱特別賞	18

受賞者、入賞者・資格者一覧

特別賞	20
奨励賞	22
入選	23
無鑑査	27
委嘱	29
審査会員	30

審査講評	31
------	----

応募点数表・審査結果表	34
-------------	----

入賞者名簿カラー版 インターネット公開のご案内

本入賞者名簿のカラー版をインターネット上で公開します。

あわせてぜひご覧ください。

令和4年8月20日(土)から

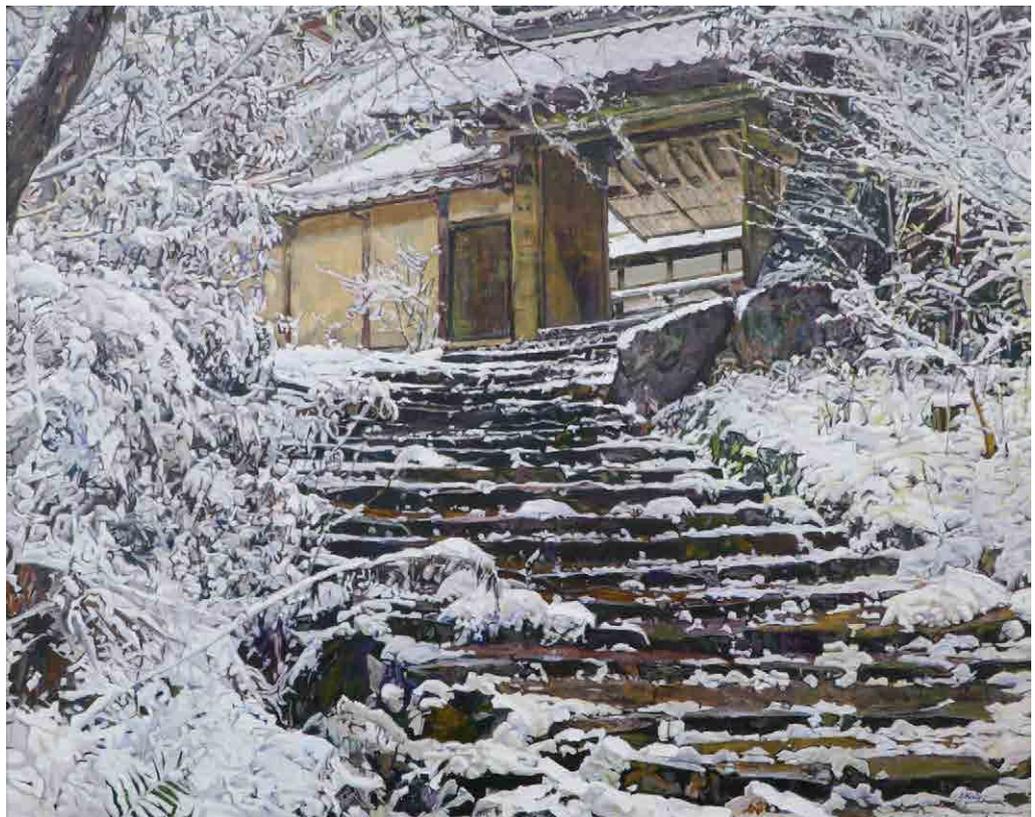
※春日井市及び文化財団ホームページ上で公開



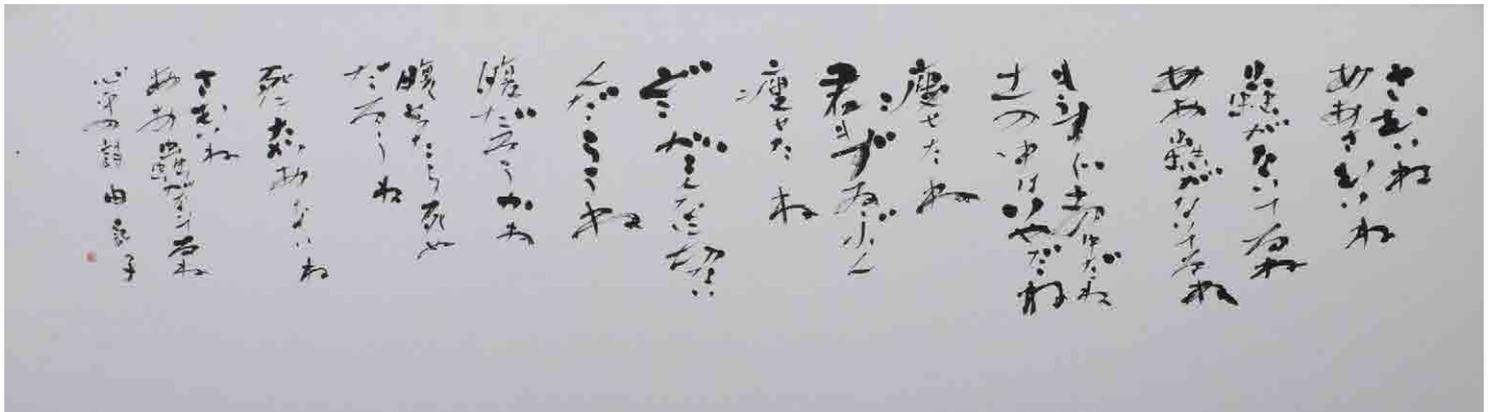
市長賞



◀ 日本画
「対峙」
山田 憲子



洋画 ▶
「定光寺 2022」
加藤 祝章



▲ 書
「秋の夜の会話」
長谷川 由記子

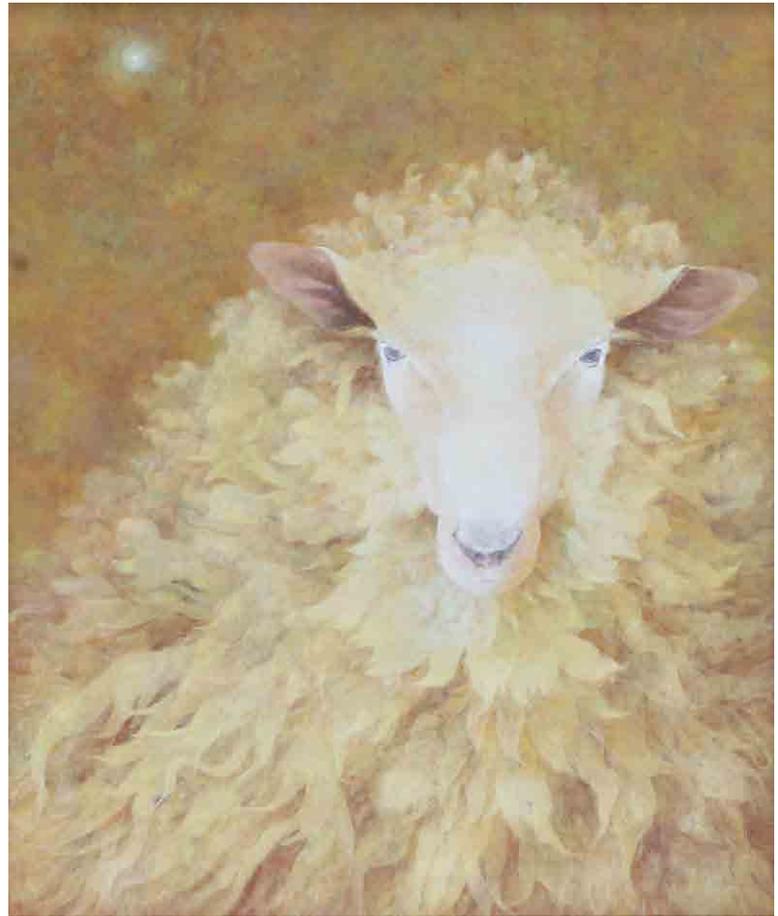


彫塑工芸 ▶
「姉妹」
館内 圭子

賞の取り消しについて

写真部門 市長賞は、他の公募展に出品された作品であり、募集要項に反すると確認されたことから、賞を取り消しました。

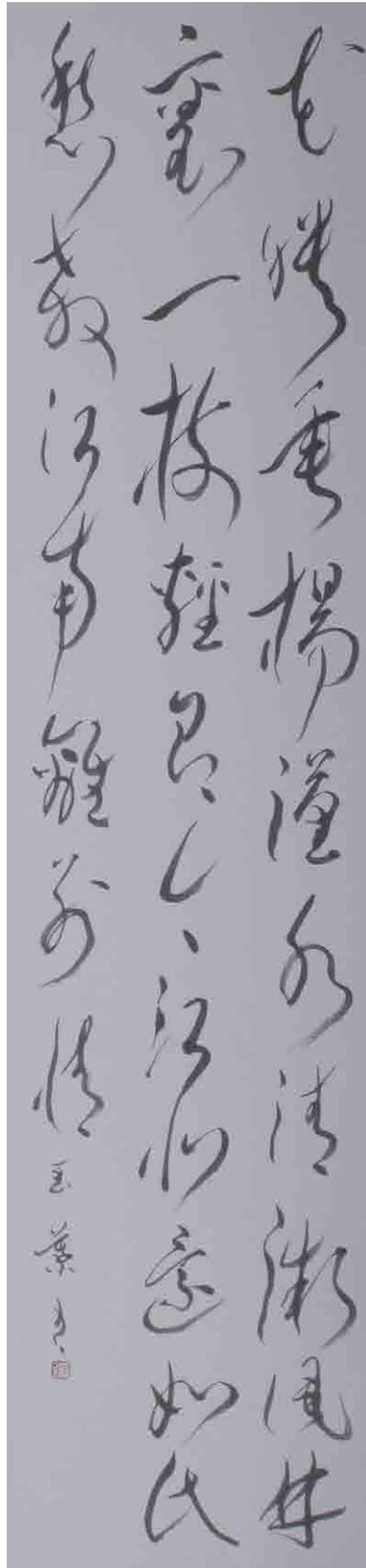
財団理事長賞



日本画 ▶
「ひつじが一匹…」
棚橋文代



▲ 洋画
「梅雨明け」
佐藤早和子



◀ 書
「送宇文六 常建」
豊田玉葉



▲ 彫塑工芸
「不動三尊」
長瀬 徹

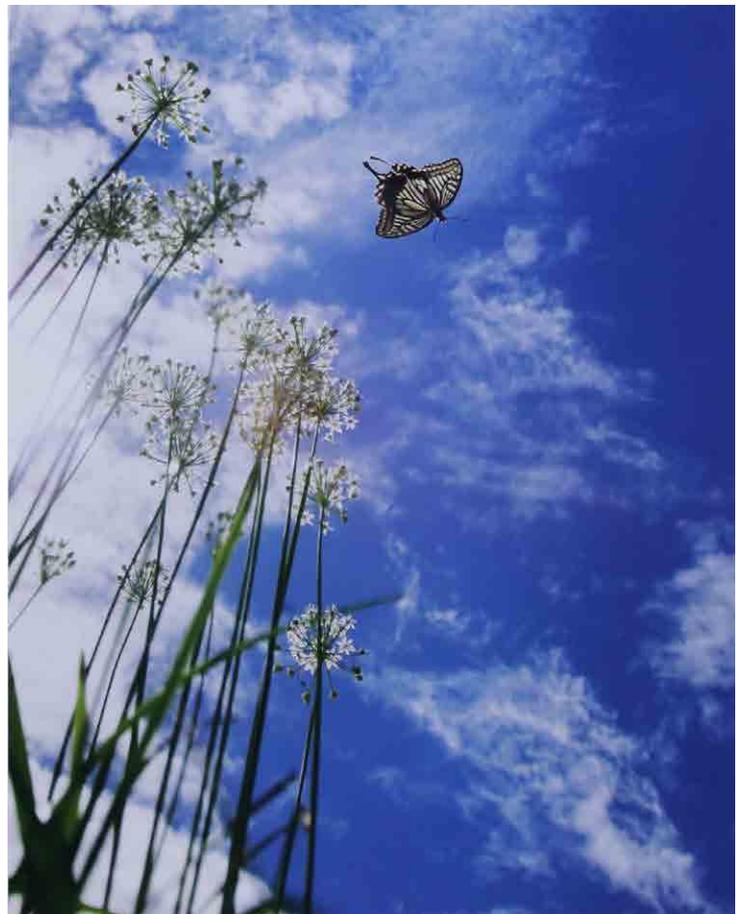
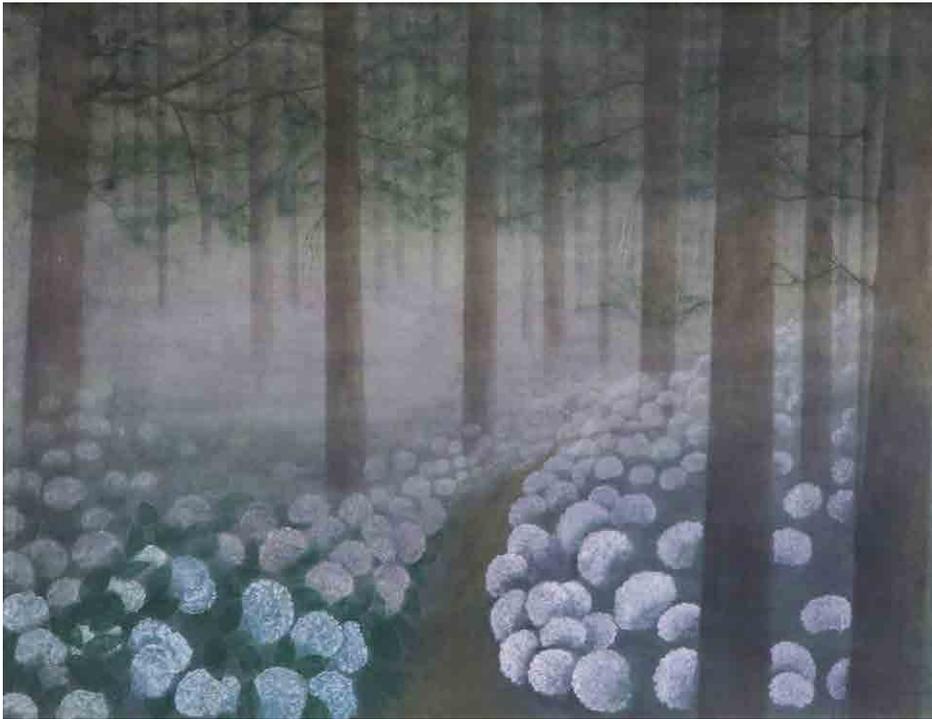


写真
「青空へ」
小林 克子

教育委員会賞



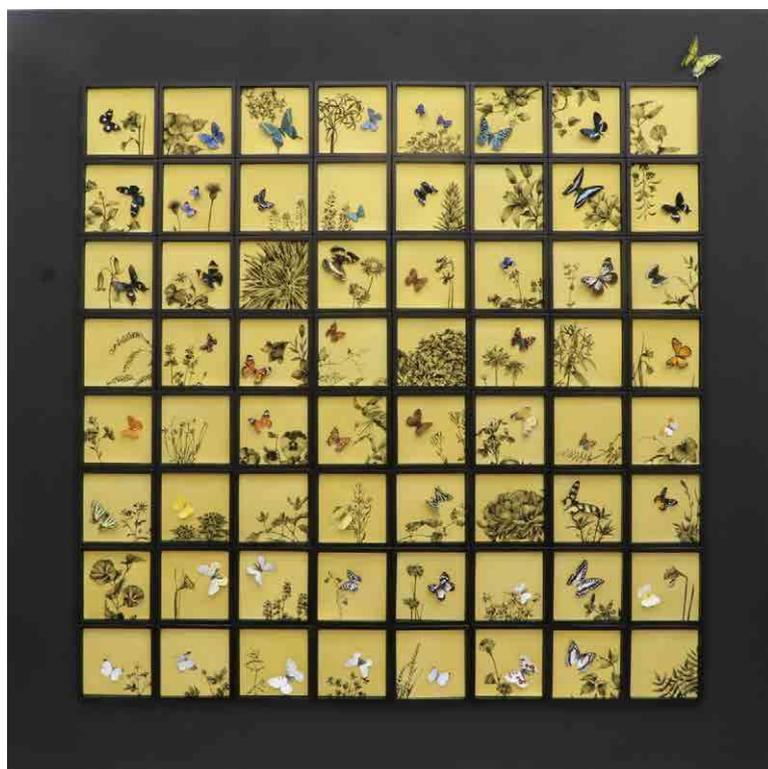
▲ 日本画
「あじさいの坂道」
梶田俊計



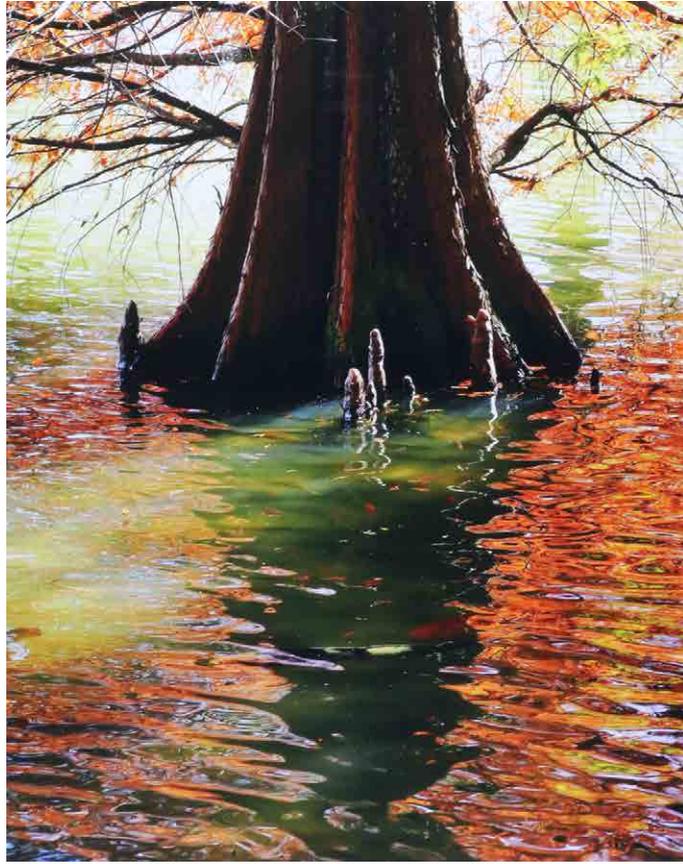
▲ 洋画
「癒しの水辺」
小笠原広行



▲ 書
「蒼鷺」
林 泰 伯



▲ 彫塑工藝
「蝶舞」
野々山 仁 美

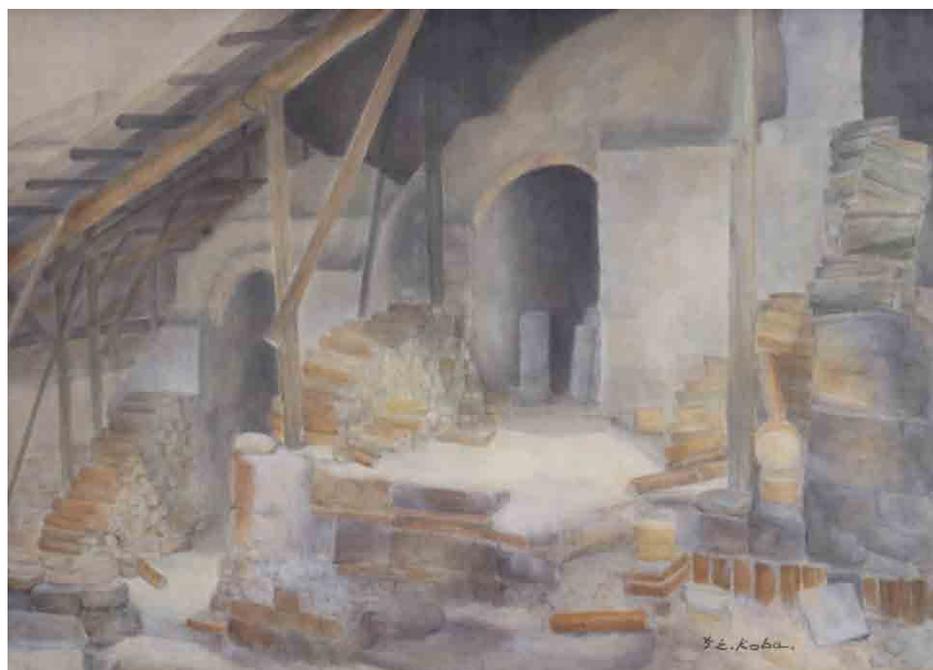


▲ 写真
「秋彩揺らく」
藤田文夫

市議会議長賞



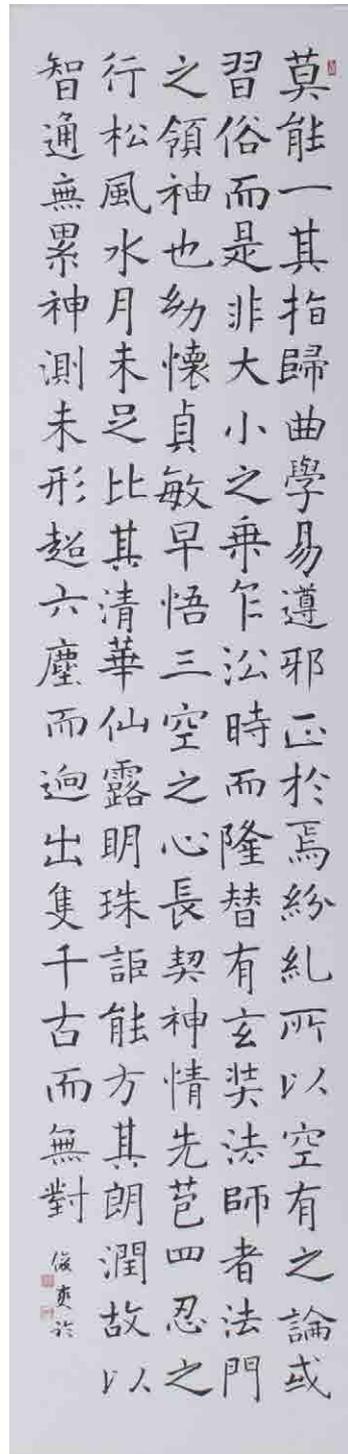
▲ 日本画
「無音」
島村 旭



▲ 洋画
「登り窯 瀬戸にて」
小林 千恵子



▲ 書
「庭」
遠藤瑞希



▲ 書
「雁塔聖教序」
神田俊爽

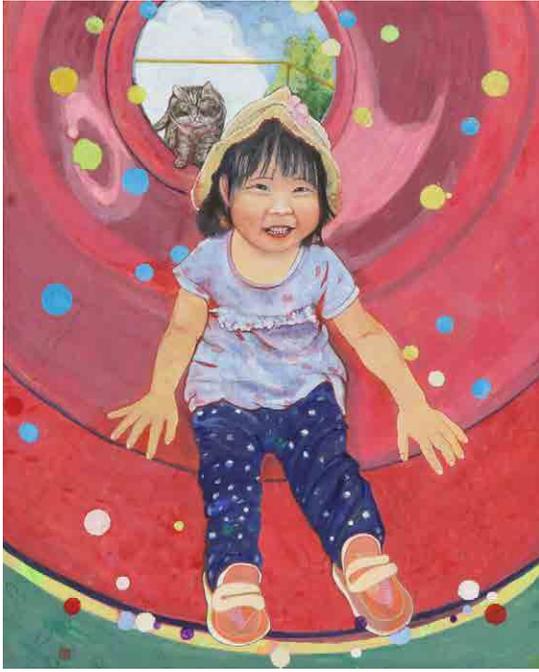


◀ 彫塑工芸
「BLOSSOM」
林 泰子



写真 ▶
「The舞妓さん」
岡 重 桂 介

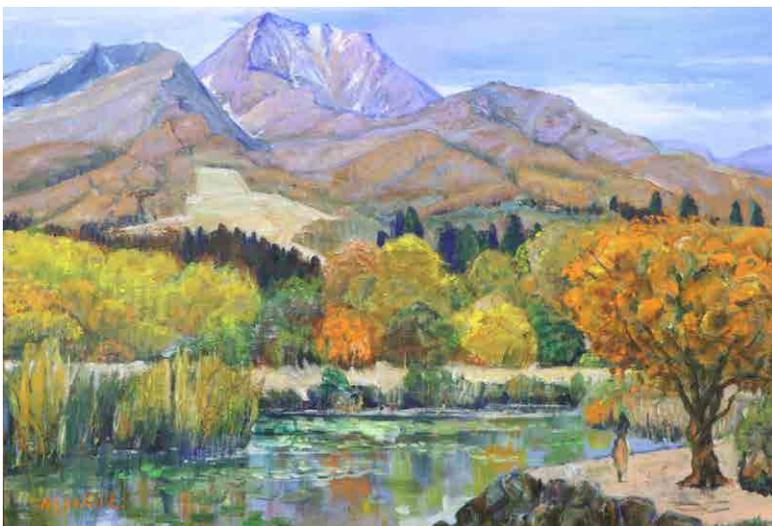
観光コンベンション協会会長賞



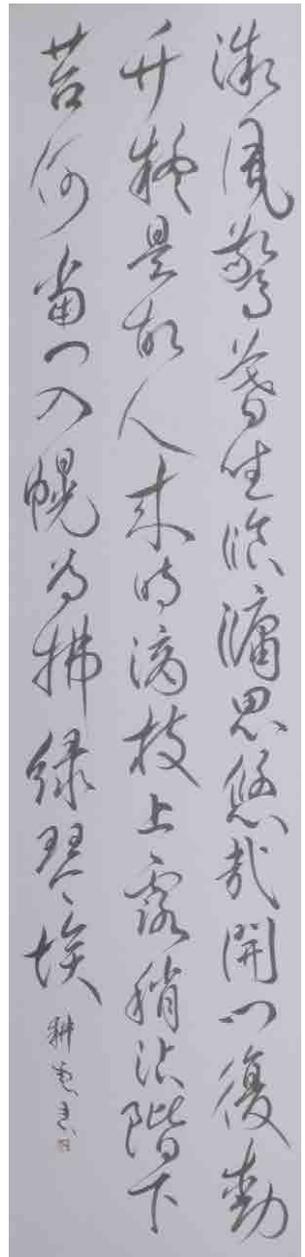
◀ 日本画
「滑り台にて」
佐伯茂明



洋画 ▶
「陽光・シチリア島」
奥村進



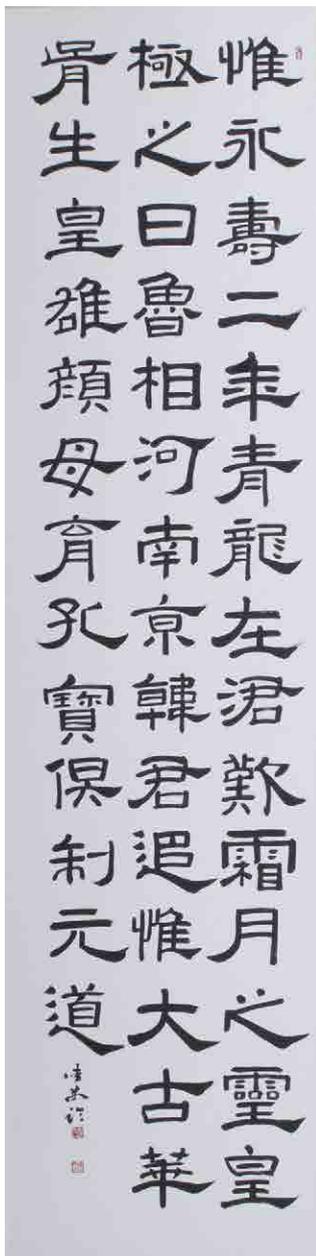
◀ 洋画
「妙高高原秋装」
加藤美代子



▲ 書
「李益詩」
酒井耕雲



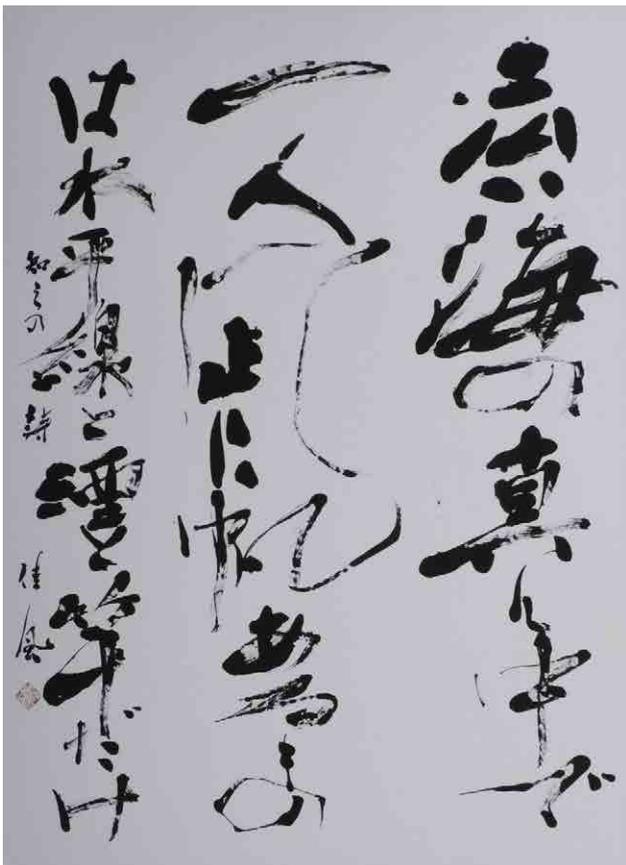
▲ 書
「桃花暮雨煙中閣」
黑田玲翠



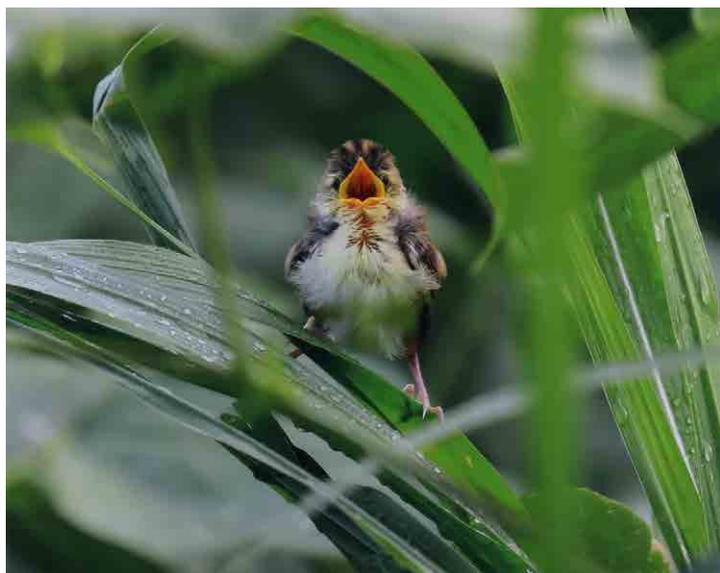
▲ 書
「礼器碑」
加藤佳茜



▲ 彫塑工芸
「風わたる」
中山道子



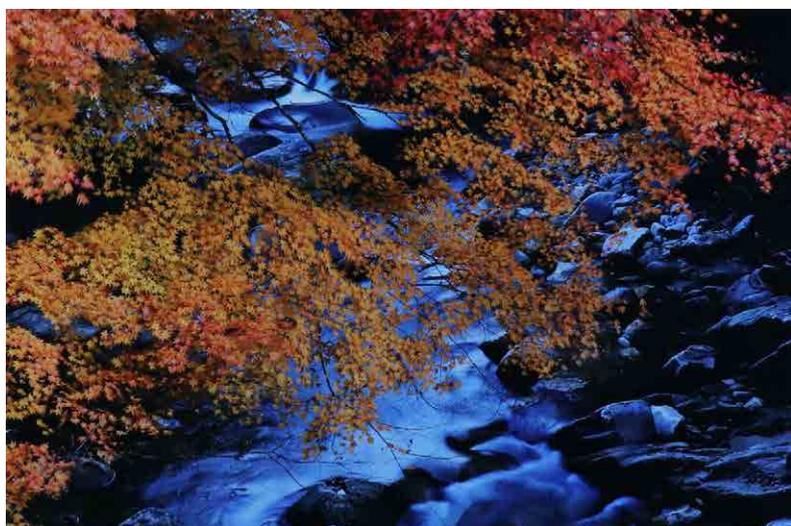
▲ 書
「広い海の真ん中で」
高倉佳風



◀ 写真
「おかあさ〜ん」
鈴木 建彦



写真 ▶
「終炎」
永田 昭夫



◀ 写真
「精彩」
長谷川 英乃

委嘱特別賞



◀ 日本画
「思い出の千成ひょうたん」
瀧 日 勝 子



洋画
「岩壁」
山 本 英 之 ▶



▲ 書
「わたしを束ねないで」
鈴木 凍山



彫塑工芸
「萌」
松本 美三子



◀ 写真
「ダイブ」
大島 雅子

特 別 賞

(五十音順)

日 本 画

市 長 賞	対峙	山 田 憲 子
財 団 理 事 長 賞	ひつじが一匹・・・	棚 橋 文 代
教 育 委 員 会 賞	あじさいの坂道	梶 田 俊 計
市 議 会 議 長 賞	無音	島 村 旭
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	滑り台にて	佐 伯 茂 明
委 嘱 特 別 賞	思い出の千成ひょうたん	瀧 日 勝 子

洋 画

市 長 賞	定光寺 2022	加 藤 祝 章
財 団 理 事 長 賞	梅雨明け	佐 藤 早和子
教 育 委 員 会 賞	癒しの水辺	小笠原 広 行
市 議 会 議 長 賞	登り窯 瀬戸にて	小 林 千恵子
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	陽光・シチリア島	奥 村 進
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	妙高高原秋装	加 藤 美代子
委 嘱 特 別 賞	岩壁	山 本 英 之

書

市 長 賞	秋の夜の会話	長谷川 由記子
財 団 理 事 長 賞	送宇文六 常建	豊 田 玉 葉
教 育 委 員 会 賞	蒼鷺	林 泰 伯
市 議 会 議 長 賞	庭	遠 藤 瑞 希
市 議 会 議 長 賞	雁塔聖教序	神 田 俊 爽
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	礼器碑	加 藤 佳 茜
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	桃花暮雨煙中閣	黒 田 玲 翠

書

観光コンベンション 協会会長賞	李益詩	酒井耕雲
観光コンベンション 協会会長賞	広い海の真ん中で	高倉佳風
委嘱特別賞	わたしを束ねないで	鈴木凍山

彫塑工芸

市長賞	姉妹	舘内圭子
財団理事長賞	不動三尊	長瀬徹
教育委員会賞	蝶舞	野々山仁美
市議会議長賞	BLOSSOM	林泰子
観光コンベンション 協会会長賞	風わたる	中山道子
委嘱特別賞	萌	松本芙三子

写真

市長賞	該当なし	
財団理事長賞	青空へ	小林克子
教育委員会賞	秋彩揺らぐ	藤田文夫
市議会議長賞	The舞妓さん	岡重桂介
観光コンベンション 協会会長賞	「おかあさ～ん」	鈴木建彦
観光コンベンション 協会会長賞	終炎	永田昭夫
観光コンベンション 協会会長賞	精彩	長谷川英乃
委嘱特別賞	ダイブ	大島雅子

奨 励 賞

(五十音順)

日 本 画

坂 野 うた子 圓福寺ご本尊 十一面観世音菩薩
松 家 節 子 万年青
松 本 道 子 春の童話
山 本 優 貴 オルゴール

洋 画

伊 藤 左余子 缶
杉 谷 まさ子 綿とカラス瓜 II
竹 村 みち子 林の向こう
棚 瀬 真 理 カートンサイズの箱の中
中 條 巖 ガジュマルに侵された家。
長谷川 まり子 浜野浦の棚田(佐賀県)
日 置 貴 子 風格
右 高 伊津子 坂折棚田 (恵那市)
森 島 美佐子 樹幹
森 田 由美子 樹勢

書

相 原 菅 雪 始平公造像記
上 原 美代子 山かぜ
鹿 倉 清 葉 別離
川 口 芳 雲 日本の風姿
古井戸 春 華 常建詩
小 林 双 梢 真草千字文
柴 田 喜代市 蘭亭序句

笙 田 倫 世 鯨
長谷川 育 子 古今和歌集
深 津 早 紀 一念慈祥
村 田 麗 水 萬歳
山 田 素 花 道因法師碑
吉 田 翠 香 高村光太郎の詩
吉 田 玉 枝 彩られたる鶏

彫 塑 工 芸

伊 藤 克 己 深い山で
岩 田 洋 桜梅文扁壺「春」

写 真

今 泉 信 一 花見フライト
小 川 洋 子 シルエット
小 池 明 夫 船団パレード
斉 藤 光 代 薫風
重 田 かつ子 大空へ
下 村 立 上 銀杏並木を行く
仲 井 由美子 白い妖精
橋 本 章 けあらし
長谷川 能 文 輝く朝
古 田 恵美子 刻々と

入

選

(五十音順)

日 本 画

相内 恵一	風蓮湖 春国岱	石川 茜	ツバキ	隅田 富子	石楠花
泉 三夫	頼久寺	伊藤 明子	寛ぐ	関口 章	山崎川の桜
伊藤 千浪	春よ	伊藤 和生	マイペット	高澤 満知子	初夏の訪れ
猪又 良次	朝練	伊藤 武臣	海に関する物	高橋 俊二	秋色の生地川
大嶋 本嗣	夏草の中のトロミル水車	伊藤 秀和	旅の思い出・竹富島	高畑 美優	夜宴
奥村 往躬	コロナに勝つ	今井 瑞穂	笑顔	瀧川 陽子	「わっしょい・わっしょい」
梶田 純作	仲よし	宇治原 正子	旅の思い出	田屋 澄江	人生
加藤 登志江	Dさんの家	浦 恵子	美しき水と緑	塚原 昭和	無題
神野 容子	竹林の七賢人	大澤 正義	富士山	辻 一成	黄色いりボン
亀井 伸司	月光を纏ったクック山	大島 巖	阿弥陀三尊像	土屋 文秀	落合公園
小 鬼 堂	いたずら10秒前	大脇 宣夫	波の彫刻	遠山 健	逆さ富士
小林 光雄	癒の菊	小川 実桜	ふわふわ	富山 仁美	7月の朝に
杉山 美千代	昭和新山	萩 巢義夫	城ヶ崎海岸	長縄 紀子	こころごころ(心心)
鈴木 緑香	「アンコールワット」カンボジア	尾澤 芳子	バラと女の人	中畑 寛重	祝いの琉球人形
高木 哲男	私の春日井三山	小澤 良子	坂の途中	中村 正之	しん(心、身、深)
高嶋 康子	梅雨空	加藤 砂夫	新緑	中村 みよ子	世界中に平和のお花を届けます。
田口 五津子	早春	加藤 麻穂	umbrella・sky	中山 恒忠	ボルトの叫び
波多野 立子	椿の花に魅せられて	金子 哲	石段のある街	二宮 節郎	不条理
繁 昌正宏	怒 涛(東尋坊)	加納 裕美	平和なひととき	野中 清三	フォロ・ロマーノ
松井 美和子	思い出	木全文 男	山門	林 明美	静物
山田 都	黄葉の頃	邦 武悠馬	Carpe diem(2)	原口 かつ子	ベラルーシ、村の花まつり
横内 定子	「春においだ…!」北極熊	後藤 颯大	自由の追求	原田 進	美山 かやぶきの里

洋 画

浅田 典子	孤高の樹	小林 和美	都会の舟泊り	土方 佑恭	REANIMATION
浅野 勝一	JAFに出動要請	小林 陽子	孫の門出	平岡 容	夏の野菜
安藤 恵一	土岐川(庄内川)源流	佐野 瑤子	「室内」	平野 雅子	雪の晴れ間に
安藤 友南	玄関の前でハイポーズ	島 貫智子	水さしとくじゃくの羽根	深谷 久美子	アーティーチョーク
石井 伸子	集う	下田 郁代	ボタン	福岡 博志	インドアリー・赤いジャイブ教団
		末 永ユリ子	磯の香り	福島 淑子	大都会シカゴ
		杉本 達哉	太陽を讃える涙	藤原 陽彩	和
		鈴木 良昭	南禅寺 水路閣	堀 敦子	薔薇

堀場 由美子	秘密の花園	井藤 雅香	米芾	神山 昌子	秋
松尾 ちづ子	岩屋堂の秋	伊藤 寿美乃	泰山	河内 結夢	祭伯文稿
松田 美智子	三輪車	伊藤 清翠	人生	神沢 紅峯	春爛漫の花の色
mieko. H	都会のエミリー	伊藤 園子	伊豫の石手寺	神戸 千春	秋櫻子の句
水谷 寿美子	祭のかなめ	伊藤 八舟	雁塔聖教序	北原 蘭雪	夜起
水谷 浩	グリーンピア和田ラクウショウ紅葉	伊藤 雛子	あこがれ	北村 栖軒	蘭亭序
水原 桜春	未知を歩む	伊藤 美文	雪に立つ竹	木野瀬 陽光	怒涛
見田 月華咲	花手水	伊藤 明珠	李華詩	櫛田 游月	奉告帖
宮内 小晴	富士山	今田 春恵	王昌齡詩	熊谷 涉	穴の設計図
宮田 元恵	夏の思い出	今田 直孝	蘇子美詩	合木 湖雪	春暁
村瀬 貴久雄	清涼(上高地)	今村 禎邨	眠雲臥石	光同寺 芳	王叔舟の詩
矢島 海月	紅葉	岩島 恵風	山園に宿す	小島 彩溪	春望
安井 明彦	人形	上田 麗翠	海上閑雲孤鶴夢	小瀬 大輝	松風閣詩卷
安田 百花	惑う	白井 照	依般若波羅蜜多故	小瀬 由佳	花丸印の日のもとで
山田 甲虫	ビートルズの街	梅田 栄香	朝景緻	五藤 しのぶ	もず
山田 陽菜多	海の世界	大内 久子	洗鉢去	古家野 弥生	落葉松
山本 厚子	あたしの庭	大島 宏恵	家運隆盛	近藤 春径	李白の詩
山本 崇登	陽炎	太田 桜舟	真草千字文	堺 千重美	杜甫の詩
吉見 かほり	御前にて	大畑 華雪	陸游詩	酒井 鳴石	楊峴書
渡辺 朋子	水辺の木々	小川 蘭舟	真草千字文	作田 菜月	フィラメント
		奥田 霞峰	孤雲出岫	清水 美水	魏張黒女墓誌
書		小栗 舟秀	風信帖	鈴木 優子	集王聖教序
青山 芽生	蘭亭序	落合 博歩	礼器碑	染野 巖峯	煙水初銷
浅井 陽子	寿限無	勝股 蒼波	客暁	高山 紅雪	福不可徹 去殺機以爲遠禍之方而已
安藤 紫水	萬里寒光生	加藤 敦美	雪白く積めり	多田 祐子	CITRUS
飯田 桜子	早春歡喜	加藤 志翠	書譜	楯 勝苑	日月如馳帖
井口 佳洋	西條八十の詩	加藤 文夫	梁川星巖詩	田中 薫園	許渾詩
池田 朱里	蘭亭序(訓讀)	蟹江 和江	時雨	田中 滉樹	夏目漱石詩
石川 真曄	自詠句	兼本 萌衣	牛櫃造像記	千々岩 清心	真草千字文
伊藤 亜希	島木赤彦の歌	神村 瑤春	Magia	帖地 玉虹	蘇孝慈墓誌銘

塚本清翠	月光	本多しまゑ	千字文より	伊藤敏安	ツマベニチョウ
津田奏遥	沿溪一茅齋	前川瑞峻	石川善助の詩	伊藤正幸	ひらめき
坪井重夫	郷黨尙齒	前島孝栄	臨・雁塔聖教序	稲山牧子	鼓型 花入れ
寺尾青波	雪国	前田笙風	登總持閣	大鋸 薫	バラ
富田鶴美	草書歌行	前田裕子	早春	岡田恵子	爽やか
富永飛燕	縄鋸に木も断たれ 縄鋸木断	間瀬慶風	伊都内親王願文	加藤雅巳	備前土ヒダスキ盛鉢
中内早紀	紅梅の花	松野悦子	澄然静坐	KIRIGAMI 武	365日の紙の花
永草紅風	長楽	松原房子	長安紀行	慧	大宇宙
中敷領立庭	小祥帖	松元涼風	何紹基書	示崎麻紀	肖像
永田正毅	心地乾浄	水野悦子	伴奏	高野由則	松本城 月見の宴
中谷翠月	許渾詩	水野遥風	早起	はせがわすみこ	ななめ45°
丹羽慶次郎	薔薇の3時	溝口千翔	李玄靖碑	林 孝子	絆
萩原清澄	孤城	宮崎あさひ	3月の帰り道	菱田久仁雄	娘
萩原由希子	村上鬼城の句	宮下恕光	南無阿弥陀佛	美頭 保	金剛力士像
橋倉詠雪	未覚池塘春草夢	宮田 基次	菜根譚後集68項	ひょうたんすみろう	明日なき世界
橋傍草堂	杜審言詩	三輪桂女	王烈『塞上曲』	平井輝彦	水走る
服部敦子	朧月夜	三輪 セーザル	不念人旧悪	藤澤康子	春がすみ
林 菁鶴	金子みすずの詩	森 帆乃香	桃源	松本廣行	有明け
林 律子	「黄花香淡」秋光老落葉声多夜気清	森尾愛音	西狭頌	miyane_san	にゃん2022
原 紗舟	冬	山内すみれ	獨坐觀心		
坂 みゆき	月光微韻	山浦洋子	富士山	写 真	
菱川 武	博聞彊識	山岡清風	梁園春	阿部照美	一輪の花
日比野碧山	真草千字文	山田春麗	終南山	荒川一正	凜として
広井雅風	杜甫詩	行武真由美	光陰如流水	家田大輔	未来へ はじめの一步
藤井淳翠	秋田街道	吉川春泉	旅人	井澤修示	時刻良し
藤田竹葉	白居易句	吉田祥山	猶魚有水 處心積慮	石井和廣	風雪の余韻
藤原恭子	臨・牛樞造像記	吉田芳水	書譜	石川宜明	山門禁葷酒の戒壇石
古川智貴	星落秋風五丈原			石黒清孝	火中の結束
古田輝美	晩夏	彫 塑 工 芸		石黒良夫	散歩道
堀 清琴	盧綸詩	池井頼雄	レッスン/左脚右脚リズムに乗って	磯村 弘	極地の夏

伊藤智広	大輪咲く	小林昌史	ゆりかご	平澤孝允	日本の国鳥(キジ)
稲垣一弘	泪	小林光雄	旅先の由布院にて	藤井孝顕	大龍院の彼岸枝垂桜
井上利宏	幻	近藤義教	新緑の郡上八幡城	藤川清治	水鏡
伊里孝彦	龍巖淵の桜並木	酒井親	雨上り -ユリ-	古田修	清々しき朝
上平加代子	仲むつまじく53年	坂田百栄	夏を感じて	堀内英昭	赤い袖
江崎光男	冬告げる水のアーチ	坂本秀明	大伽藍の象徴	堀内政子	彩る
大石琉奈	Love	澤田昌俊	日本刀の鍛錬	前川敦哉	釣人
大熊俊雄	高蔵寺ニュータウンの春	清水義博	神がいる村	真木美知子	じいちゃん!!
小笠原貞二	一瞬の着地 コミズク	下平邦弘	光降る	益江健一郎	なかよし
岡島敬司	弘暁	杉浦英幸	朝靄	松澤敏治	巖冬の滝
小椋英雄	『祈り』	杉山道生	いじめ	松田健	宇宙人の目
折戸秀明	緑道を見守る	鈴木宏昭	晩夏の一夜	水口誠	桜日和
垣内正博	「シナイ」揺れる谷汲踊り	鈴木愛未	きれいな海岸	水谷琴美	遠望
笠原照雄	豊橋吉田神社手筒花火奉納	鈴木羽衣	シルエット	水野一郎	偲ふ
加島治夫	郷愁	高木正己	コスモスに見送られ	南典男	盛夏
片田芳朗	一竿に托す	竹下巴	微笑み	宮内憲一	山田の実り
加藤宏	ハイカー	田中陽登	夜の始まり	村瀬悠	置き去りにされたもの
加藤学	親子を待つ	田村元雄	夜山車 神前披露	村田正美	もうすぐ北帰行
加藤道子	時節を訪ね	徳永ゆい	ベースの少年	山岸武久	イワカガミ群生
岸才紋	海月	中條巖	インド、カッチで会った粹な老人。	雪嶋大	夜明けのバラード
木村弘之	祭りが帰ってきた	中西謙一郎	ジャンプ	吉田勝志	夜明けの稜線
桐井政信	桜吹雪を愉しむ	中村庸男	春日和	渡邊信二郎	森の妖精
邦武悠馬	「放課後」	中村春喜	ホテル道	渡辺久尚	錦秋
久野榮次	羽ばたき	名倉進	春爛漫		
熊澤晴夫	静寂	丹羽守男	雪のアート		
熊野義樹	春想う	長谷川忠志	春 満開		
小篠利史	継ぎ接ぎ	波多野桂一	求愛		
小島光春	善光寺ご開帳	波多野咲枝	さあ出発だ		
後藤和雄	散歩道	波多野豊子	入梅の頃		
小林初美	花装	平川朋実	野鳥の災難		

無 鑑 査

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

飯 尾 博 明 仁王の怒り
 佐 伯 茂 明 滑り台にて
 武 内 喜代子 転生
 山 下 勝 一 夜のコンビナート

洋 画

会 津 清 子 山羊のいる景色
 老 本 貴美枝 境
 大 塚 早 苗 葛藤そのII
 大 橋 豊 黄色い薔薇
 小笠原 広 行 癒しの水辺
 奥 村 進 陽光・シチリア島
 加 藤 祝 章 定光寺 2022
 加 藤 千恵子 朝顔
 加 藤 美代子 妙高高原秋装
 神 戸 健 志 街路樹 2020, summer
 坂 本 泰 山 ひまわりの中で
 佐 藤 早和子 梅雨明け
 佐 藤 百合子 K先生座像
 田 邊 陸 男 三千院・わらべ地藏
 橋 本 進 漁を終えて
 浜 谷 真知子 魚市場の風景
 早 川 瑛 子 市場に向う
 深 山 百合子 夏の日
 増 田 美和子 郷愁
 松 岡 弘 美 WATA
 水 野 幸 子 二人の少女
 山 田 美枝子 ひ ま わ り

書

浅 野 春 翠 終南別業

井 戸 茂 造 遊
 伊 藤 翠 月 争坐位文稿
 伊 藤 柳 香 烏百態
 上 田 清 楓 李白詩
 大 橋 幽 徑 イワミザワ-岩見沢-
 岡 田 雪 魚 自叙帖
 小 川 華 舟 雲動乾坤三祝寿
 笠 木 柏 舟 今宵の月
 梶 田 汐 里 雪に立つ竹
 梶 田 汀 雨 山彦
 梶 田 夕 貴 晩秋の黄河
 加 藤 貴 咲 猫
 加 藤 紅 曄 三好達治の詩
 亀 田 橋 河 書 譜
 川 合 碩 山 高 適 詩
 河 地 一 舟 李嶠詩
 河 地 柳 玉 伊都内親王願文
 河 原 綵 子 山家集
 櫛 田 瑤 月 曹全碑
 工 藤 雅 恵 一春人醉斜陽裡
 國 定 景 風 桃花暮雨
 小 島 徹 即興
 小 林 玉 葉 古今和歌集卷第十五
 小 林 溪 翠 李嶠詩〈洛〉
 小 林 恵 風 夏の音
 重 見 梢 玉 人間の限会
 柴 田 美 保 佐羽淡斎詩
 清 水 竹 水 裴將軍詩
 鈴 木 春 葉 高村光太郎の詩
 竜 田 春 蘭 李邕詩
 谷 利 紫 鳳 俵万智の歌
 鳥 居 彩 雨 送友人

中澤抱翠	竹里館	小倉せい子	仲よし 姉妹
長縄桃李	米芾 蜀素帖	加藤知子	アートアクアリウム「宙」
永見沙香	花影忽生知月到	川口瓊子	ピエロの笛
西山美翔	草書屏風	舘内圭子	姉妹
仁部巒瑠	金子光晴の詩	林泰子	BLOSSOM
野中游园	香積寺	平野鎮雄	スケッチ (1)
野々川翠扇	寒山詩	村田紀子	箱の中のバラ 光の中のばら
羽柴苔谷	流水		
原三篁	禮器碑		
原田美紀	臨・雁塔聖教序		
平野智山	海の夏		
福留文蛤	離洛帖		
藤田香志	絶句		
藤縄昌江	桜		
古川直美	結		
古橋篤和	曹全碑		
増田紅葩	富士山記		
松田玲花	雁塔聖教序		
松原楽朋	現実と希望		
右高香山	湖畔にて		
宮田澄希	鄭羲下碑		
山田翠苑	透明な結晶		
山田清翠	賈至詩		
山本康二	嘯		
山本鈴珠	戦国縦横家書I		
横井吟虹	雪炎		
横井光城	獵中の将		
吉岡翠谷	雄飛		

写 真

石井啓喬	夜半の星
磯部正夫	春のなごり
市原淳宏	アドベンチャーカヌー
今井千津子	ダイヤモンドロック
牛場建一	争う
奥村起巳生	みんな・オハナ(家族)
神戸敏文	退屈な刻
久野泰宏	孤高に生きる
鈴木建彦	「おかあさ〜ん」
高原良造	湖畔の朝
竹島光治	晩秋
竹島洋子	山里の春
田中吟胡	輝く蓮池
永宮正義	ひととき
早川幸夫	雪やみて
凡三	雨あがる
松永昭弘	朝霧のきらめき
松本唯明	白帝城・春うらら
山田徹	真夏の激闘
吉野徹	温もりの光
吉村清子	仲よし親子

彫 塑 工 芸

大竹恵子	今日は終り
奥村日出夫	かえる

委

嘱

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

梅 本 美千子	春うらら
大 島 雅 子	祭り
奥 村 日出夫	木蓮
故 鈴 木 潤 子	皇帝ダリヤ
瀧 日 勝 子	思い出の千成ひょうたん
田 中 恵 子	牡丹
富 永 美千代	乞巧羹
平 松 節 子	ゴーヤ

洋 画

石 黒 郁 美	人形
大 泉 雄 一	佇む
小 原 芳 子	初秋の窓辺
白 鳥 喜代司	琵琶湖疎水橋
鈴 木 英 機	坂折の棚田
西 島 正 人	旅先にて
山 本 英 之	岩壁

書

伊 藤 芳 華	飯田蛇笏の句
今 井 芝 香	萬太郎の句
岩 田 守 文	臨・楊准表紀
鵜 飼 冠 山	何景明詩
宇 野 光 峰	燕の子
大 嶋 雲 亭	陳子昂詩
岡 本 桃 香	朗詠歌
小 幡 豊 園	秋浦歌
加 藤 城 涯	釣台
加 藤 翠 柳	蓮の花
神 戸 春 谷	伊東静雄の詩

河 野 春 童	心如水
小 嶋 恵 泉	水の音に
小 林 京 苑	名家集切
代 田 美 泉	魄
鈴 木 凍 山	わたしを東ねないで
鈴 木 美 月	まさをの詩
波多野 明 翠	君死にたまふことなかれ
服 部 光 峰	鶯花世界如春夢
桃 井 祥 谷	俳句
山 川 桂 花	張籍詩

彫 塑 工 芸

伊 藤 時 子	旅の思い出(イタリア)
打 田 世 道	七宝蓋物
柴 田 文 夫	おいしそう
西 口 昭 雄	青鷺と燕子花
松 本 美三子	萌
八 木 宏 美	静寂
安 江 勝 夫	千手観音

写 真

伊 藤 とよ子	スポットライト
大 嶋 和 美	仲良し散歩
大 嶋 雅 子	ダイブ
坂 本 進	天空へ
外 勢 肇	愛し子
中 西 眞 二	十七才の夏休み
村 里 茂 延	大河の夜
森 田 和 生	大見得

市民美術展覧会審査委員

(順不同)

日本画

安達 英志郎 ノー(マスカレード)
 森脇 仁士 矢
 浅野 忠 裏磐梯
 鈴木 淳子 ゆれる
 瀧下 尚久 蘭香
 加藤 洋一朗 櫻の道
 芝 康弘 朝に駆ける

洋画

奥村 浩康 御嶽
 小林 笑子 植物譜
 小林 俊明 記憶の中の風景
 塚田 譲 ハッピータイム
 岡部 寛治 古都マテラ(南イタリア)
 木村 順一 刻
 新井 直子 アーティーチョークの花
 兼 忠志 氷柱・STOP温暖化
 水谷 武 予感2022B

書

中村 立強 気淑
 藤田 金治 肘
 長谷川 秀谷 夕暮の歌
 石黒 柏葉 野に咲く花のように
 後藤 幽泉 白鳥
 木全 春葉 島木赤彦の歌
 安達 柏亭 清貧
 橋詰 桃邨 冨子々孫々
 日比野 桃花 白楽天詩
 武内 峰敏 サラリ
 小川 大樸 画之蒙養在墨
 川本 赫汀 魂の証明

原田 凍谷 あい子の詞
 長谷川 清城 想
 山川 昌泉 白馬入蘆花
 梶田 文宗 鳳鳴朝陽
 後藤 抱琴 茨木のり子詩
 本多 順香 -
 津田 松鶴 海郷
 鈴木 香萩 薔薇の散策
 三島 濟美 流
 伊藤 井翠 庚山草堂題壁
 川本 大幽 窪田空穂の歌
 落合 棲谷 無辜之民
 河地 栖雲 漢詩
 小山 峯雲 「螢穿濕竹」流星暗魚動輕荷墜露香
 永瀬 紅蘭 多佳子の句
 松本 盈真 千峰鳥路含梅雨
 小坂 克子 大風來濤聲起

彫塑工芸

高橋 佐門 粉吹窯変扁壺
 吉村 政美 伏す
 柴田 明 有線七宝抽象文花器
 河村 佳則 やすらぎ
 伊藤 典子 SO宙RA-清韻
 丹羽 萌 てっせん

写真

伊藤 滋 ゴールイン
 安藤 宏幸 睨み合い
 奥村 克己 夕照の暁
 丹羽 省吾 遠照寺の主役

審 査 講 評

日 本 画

今回の日本画部門は、一般30名、無鑑査4名、委嘱8名の合計42名の応募と審査会員7名を加えた出品がありました。コロナ禍にも関わらず多くの力作が出品され、多彩な表現力を持った作品が見られました。

市長賞 山田憲子さんの「対峙」は墨絵の作品で独特なマチエール（揉み紙技法）を使い岩肌の質感を作り、造形力もあり最高賞にふさわしい作品です。

財団理事長賞 棚橋文代さんの「ひつじが一匹・・・」はやさしい色彩で、丁寧な筆遣いで好感が持てます。50号大クラスの作品を観たいと思いました。

教育委員会賞 梶田俊計さんの「あじさいの坂道」は、静かな森にあじさいの群生を表した作品で、技術の高い作品になりました。

市議会議長賞 島村旭さんの「無音」は、大胆な構図で光と影のバランスも良く、スケールの大きな作品となりました。

観光コンベンション協会会長賞 佐伯茂明さんの「滑り台にて」は、可愛いお孫さんがとてもよく描けています。作品後方の丸窓も効果的に入っていて青空が全体の色調を引き締めています。

委嘱特別賞 瀧日勝子さんの「思い出の千成ひょうたん」は、色彩がとても美しく素敵な作品に仕上がりました。ベテランの作風が感じられます。

奨励賞 坂野うた子さん、松家節子さん、松本道子さん、山本優貴さん。中でも仏像を描かれた坂野さんは、金箔・金泥で仏像を表し細部まで描き込んだ労作となりました。

惜しくも賞に選ばれなかった作品も素晴らしい出来でした。

日本画は描写力、造形性はもちろんですが、何をどう表現したいかが大切な要素です。

自分の気持ちを素直に画面に出してみてください。

皆さんこれからも頑張ってください。

<日本画部門審査会員 瀧下 尚久>

洋 画

今年の出品点数は、134点で油彩作品より水彩作品が多い出品となりました。大作もあり、しっかりした見ごたえのある作品が多くありました。

今回は特別賞6点のうち無鑑査作品が5点入賞して、無鑑査作品の充実を実感しました。

市長賞の作品は、寺へ向かう石段でしょうか、落ち着いた冬の様子が見事に描かれています。木の枝や草木の先端まで雪が載って穂先が垂れている雰囲気良く表現されていて、厳しい寒さを感じます。石段を登って行った先には暖かい物があるようで構図もぬくもりを感じます。

財団理事長賞の作品は、春日井市の三ツ又公園の風景を、素晴らしい視点からとらえ、夏の緑と蓮の花が見事に表現されています。吊り橋のある奥の風景もしっかりと描き込んであります。夏の濃い緑の中にそれぞれ独立した色を表しています。水の表現も素晴らしく力強さと安心感を与えてくれる作品となっています。

教育委員会賞の作品は、版画が選ばれました。今年も版画は2点の出品があり、2点ともしっかりした作品でした。受賞作品は、このまま色を付けたら素晴らしい風景画となる作品です。この作品は見事に大判に彫り上げ1色で表現してどっしりとした存在感があります。

市議会議長賞の作品は、焼窯の風景を水彩で柔らかく表現しています。油彩での表現ですと絵具を重く重ねて力強く表現しそうですが、落ち着いた雰囲気を感じ、親しみのある心象的な風景となっています。

観光コンベンション協会会長賞は2点ともしっかり絵具の載った力強い風景になっています。

1点は海外の街と海辺の風景をしっかりした構図で表現されていて安心感のある作品です。

もう1点は秋が深まってきた山と静かな湖の風景を力強いタッチで表現し、郷愁を感じる作品です。

委嘱特別賞の作品は、100号の大作に大きな壁を細かく書き込み、冬の厳しさの中に深い力強さを感じます。

一般出品作品の中に力強い魅力のある作品がたくさんあり、賞候補に多く上げられましたが、奨励賞の予定より多

く候補が出ましたので、残念ながら賞に漏れた作品が数点ありました。

その他にも個性豊かな作品が多くありました。僅差で受賞できなかった作品もあり、次回を期待したいと思います。

＜洋画部門審査会員 塚田 譲＞

書

今回の出品点数は一般が148点、無鑑査が61点で、若干の減少はあるものの、漢字、仮名、近代詩文書、小字数書、篆刻の各ジャンルにおいて、見応えのある作品が数多く出品されました。

この中で市長賞の長谷川由記子さんの「秋の夜の会話」は近代詩文書の作品で、黒と白のバランスが実に絶妙で、余白がよく生きており、明るさのある作品です。財団理事長賞の豊田玉葉さんは、七言絶句の漢詩を、淡墨を使って柔らかく、流れるような作品に仕上げました。教育委員会賞の林泰伯さんの「蒼鷺」は近代詩文書ですが、「風を聴く」と大きく書かれた文字が力強く、小さく書かれた詩文とのバランスがよく取れています。市議会議長賞の遠藤瑞希さんの作品「庭」は、近代詩文書で、線の強弱を上手く使って、リズムよく綺麗にまとまっています。同じく市議会議長賞の神田俊爽さんは、「雁塔聖教序」の臨書作品ですが、5行の細字の作品で、ほそい線を上手く使って、原帖の雰囲気をよく表現しています。観光コンベンション協会会長賞の加藤佳茜さん、黒田玲翠さん、酒井耕雲さん、高倉佳風さんの4作品も見応えのある力作です。そのほか、委嘱特別賞の鈴木凍山さんの作品は、濃墨を使った黒と白のバランスが素晴らしく、柔らかさがあって格張りの高い作品になりました。また奨励賞他の作品も、ジャンルの異なった力作が数多く出品され、バラエティーに富んだ内容になっています。

この市民美術展は、同じ書部門でも、幅広い作品が一堂に会し、様々な視点から鑑賞することができ、観る人を楽しませてくれます。作品制作には大変な時期ではありますが、自分の内面を見つめる良い機会でもあり、作品発表の場として、来年以降も数多くの力作が出品されることを期

待致します。

＜書部門審査会員 梶田 文宗＞

彫塑工芸

今年度の彫塑工芸部門は、一般25名、無鑑査9名、委嘱7名の応募があり、審査会員6名を加えた47名の出品がありました。感染症が終息する気配を見せない非常に厳しい時ではありますが、昨年より一般出品者が8名増えました事は、例年減少傾向にありました彫塑工芸部門にとりまして大変喜ばしいかぎりでございます。一般の出品作品の今年の大きな特徴としまして立体作品が多く、中でも彫刻制作の削るという作品が多く見られました。

彫塑工芸部門は多方面に渡った分野の作品であります。彫刻にも木、石、土、金属など、ほりきざんで作る。陶芸は土で形を作り焼き上げる。人形は桐木粉で人形の形を作る。竹細工、七宝、切り絵、漆、パッチワーク、染色、等々とてもバラエティーに富んだ作品であり作る楽しさが伝わってまいりました。

市長賞 館内圭子「姉妹」の桐塑人形は、二人の少女がいかにも楽しそうな会話をしている様子と柔らかなコスチュームが素材を通して伝わってくる作品です。昨年も受賞され毎年秀作を出品され今後益々飛躍が期待されます。

財団理事長賞 長瀬徹「不動三尊」木彫りの作品は、高い技術が見受けられ、細部に渡って仕上げられたとても優秀な作品です。一般の出品なので今後益々の制作に期待いたします。

教育委員会賞 野々山仁美「蝶舞」64種類もの実物に近い蝶が非常に細かい羽根の模様が一枚一枚されており非常に高い描写力と丁寧な制作が伝わってくる見事な作品です。構成力も優れており労作でありました。

市議会議長賞 林泰子「BLOSSOM」陶の作品は一枚一枚の花びらが焼き物で表現されています。重く感じさせる素材ではありますがそれを感じさせない表現力が素晴らしいと思います。

観光コンベンション協会会長賞 中山道子「風わたる」桐塑人形は、人形制作造形に真剣に取り組む姿が感じられ

る作品であります。今後の益々の制作に期待いたします。

委嘱特別賞 松本美三子「萌」竹の作品は、伝統的な工芸で歴史は古く編み方にも基本があり技術を習得されている事が見受けられます。形状にもいつもの様に工夫が見られいつもながら楽しみな作品です。

奨励賞に輝かれた木彫のくわがた虫と陶芸の作品は特別賞に入ってもおかしくない高い技術と労力が感じられ今後の作品に期待いたします。

今回惜しくも賞に入らなかった作品にも高い技術と時間を費やして制作に取り組む姿が見られました。制作する楽しさ、夢中になる喜びを感じさせていただきました。

次年度も尚一層の魅力的な作品を制作され、また一人でも多くの方々が出品される事を期待いたします。

<彫塑工芸部門審査会員 河村 佳則>

写 真

新型コロナウイルスの蔓延も3年目となり、撮影に出かける機会も減った影響が、作品の出品数や内容に出てきているように思われます。特にマスクが欠かせなくなった今の状況は、人物を扱った作品作りをより難しくしているように思われます。早くコロナ以前の社会に戻ってほしいと思う毎日です。

財団理事長賞「青空へ」小林克子さんの作品は、青空を背景に飛ぶアゲハチョウの姿を印象的に捉えた写真です。逆光気味な状況でニラと思われる植物は明るくなっていますが、アゲハチョウは適度な明るさで青空によく映えています。下から写し上げることで、ヌケの良い清々しい作品に仕上がっています。

教育委員会賞「秋彩揺らぐ」藤田文夫さんの作品は、細野町の都市緑化植物園の大久手池にある巨木ラクウショウを写した写真と思われます。黄金色に色づいた枝葉の映り込みが、水面の揺らぎのおかげで彩り豊かな作品になっています。シンメトリーでシンプルな構図も目を引きまします。

市議会議長賞「The舞妓さん」岡重桂介さんの作品は、京都祇園の舞妓さんが和傘を携えた姿を捉えた写真ですが、あえて傘を差さずに舞妓さん自身の影を傘に落とした

絵作りが光る作品です。逆光下で露出の難しい状況ですが、影を映した傘と表情の明るさが、バランスよく表現されています。

観光コンベンション協会会長賞「おかあさ〜ん」鈴木建彦さんの作品は、精緻なピントで捉えられた野鳥の雛の姿です。真正面から撮られたことが功を奏し、つぶらな瞳で何か訴えているような表情は、見る者の心を揺さぶるかのようです。

同賞「終炎」永田昭夫さんの作品は、西尾市にある鳥羽神明社で毎年2月に行われる鳥羽の火祭りのひとコマを写した写真です。炎に挑む男たちはネコと呼ばれています。すずみと称される高さ5メートルの大松明に挑んだ二人のネコの姿が印象的です。炎の明るさを抑えながら、ネコの表情がしっかりと捉えられています。

同賞「精彩」長谷川英乃さんの作品は、秋色に染まった長野県根羽村の小戸名渓谷の写真です。茶臼山を源流とする溪流は、春には岩ツツジが咲き、秋は紅葉の撮影スポットです。スローシャッターで水の流れをゆるやかに表現し、黄葉を画面内に大きく取り入れた清涼感あふれる絵作りが光る作品です。

委嘱特別賞「ダイブ」大島雅子さんの作品は、ホッキョクグマが飛び込んだ様子を水槽越しに写した写真です。大きな動物のため撮影には広角レンズが必要と思われる、ISO感度を上げて速いシャッター速度で、ホッキョクグマがブレないように撮られています。広げた両手と口から出る泡が目を引きまします。

<写真部門審査会員 丹羽 省吾>

応募点数

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合計
応募搬入点数	①一般	30	96	148	25	108	407
	②無鑑査	4	22	61	9	21	117
	小計(①+②)	34	118	209	34	129	524
③委嘱		8	7	21	7	8	51
④審査会員参考作品		7	9	28	6	4	54
合計(①+②+③+④)		49	134	258	47	141	629

審査結果内訳

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合計
特別賞 (①一般、②無鑑査より選考)	市長賞	1	1	1	1	0	4
	財団理事長賞	1	1	1	1	1	5
	教育委員会賞	1	1	1	1	1	5
	市議会議長賞	1	1	2	1	1	6
	観光コンベンション協会会長賞	1	2	4	1	3	11
	合計	5	6	9	5	6	31
奨励賞 (①一般より選考)		4	10	14	2	10	40
入選		22	85	125	20	92	344
選外		0	0	0	0	1	1
委嘱特別賞 (③委嘱より選考)		1	1	1	1	1	5
展示数合計		49	134	258	47	140	628

第71回 春日井市民美術展覧会入賞者名簿

令和4年8月発行

編集：公益財団法人かすがい市民文化財団

発行：春日井市

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44

公益財団法人かすがい市民文化財団 電話(0568)85-6868

審査員解説(ギャラリートーク) 日程表

市民展審査会員が特別賞作品等の作品解説を行います。ぜひお立ち寄りください。

部 門	会 場	8/20(土)	8/21(日)	8/26(金)	8/27(土)
日本画	交流 アトリウム 文化フォーラム春日井 1F	▶11:00 安達 英志郎	▶10:00 鈴木 淳子	▶15:00 瀧下 尚久	▶11:00 芝 康弘
洋 画		▶14:00 塚田 譲	▶11:00 塚田 譲	▶14:00 水谷 武	▶10:00 水谷 武
書		▶13:00 中村 立強	▶14:00 山川 昌泉	▶11:00 武内 峰敏	▶15:00 河地 栖雲
写 真		▶15:00 伊藤 滋	▶15:00 丹羽 省吾	▶10:00 安藤 宏幸	▶14:00 奥村 克己

※「彫塑工芸部門」の審査員解説はございません。

※ 都合により講師・時間など変更する場合があります。

※ 日本画部門・洋画部門の審査会員を一部変更しております。

※ 新型コロナウイルスの感染状況及びBA.5対策強化宣言が実施されていることを考慮し、全部門の審査員解説(ギャラリートーク)の会場を、文化フォーラム春日井1F・交流アトリウムに変更します。大型LEDビジョンに、特別賞受賞作品等のカラー画像を映し出し、審査員が解説します。

春日井市民美術展覧会 資格について

「春日井市民美術展覧会規約 細則に関する事項」より

【審査会員】 次に掲げる者のうちから役員会で決め、春日井市長が委嘱する

- 1 市内在住、又は在勤の美術作家で現に活躍し、相当の地位にある者
- 2 市民展に功績のある者

【委 嘱 者】 1 本展覧会において市長賞を2回、若しくは市長賞を1回と財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査委員会推薦した者

【無鑑査者】 1 本展覧会において市長賞を1回、若しくは財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査委員会推薦した者

【資格喪失】 2年連続して出品のない場合、その資格を失うことがある。